

**2017年度「いきもの共生事業所認証（ABINC認証）〔集合住宅版〕」を4物件で取得
—制度開始以来4年連続、事業者として最多の累計17物件での認証取得—**

当社では昨年度に引き続き、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会による、2017年度「いきもの共生事業所認証（ABINC認証）〔集合住宅版〕」を「ザ・パークハウス 和光市」等4物件において取得しました。本認証制度はこれまで第三者が定量的に評価することが難しかった、土地利用における生物多様性保全の取り組みの成果を可視化して認証する制度です。当社は2014年度に本認証制度〔集合住宅版〕が開始して以来4年連続での認証取得となりました。累計17物件での認証取得は、事業者として最多件数となります。

また当社は、2015年2月より物件規模・敷地面積の大小に関らず全ての「ザ・パークハウス」において、生物多様性保全に配慮した植栽計画「BIO NET INITIATIVE（ビオ ネット イニシアチブ）」に取り組んでおり、2018年2月時点で130物件を超える国内分譲マンションに導入しています。

2017年7月に竣工した「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」では、当社が同8月から9月にかけて行った調査で、敷地内にシジュウカラをはじめ鳥やチョウなど20種類以上の生きものが飛来していることが確認できました。

本取り組み導入後、初めて行った竣工物件敷地内における本調査を通じて、当初想定していた通り、敷地内の植栽が生きものの飛来経路地点としての役割を果たしていることが分かりました。

当社は、今後も継続して、物件規模・敷地面積の大小に関わらず全ての「ザ・パークハウス」において生物多様性保全に配慮した植栽計画を行うとともに、特に生物多様性の保全への貢献度が高い物件において、様々な認証基準が設けられた「ABINC認証〔集合住宅版〕」の取得を目指すことで、環境に配慮した街づくりに取り組んでいきます。

ザ・パークハウスの、いのちをつなぐ街づくり。



【2017年度 ABINC 認証取得物件】

- ・ザ・パークハウス 和光市
- ・(仮称) 福岡市中央区地行浜 2 丁目計画
- ・神奈川県鎌倉市で計画中の物件
- ・愛知県名古屋市で計画中の物件

1. 2017年度 ABINC 認証〔集合住宅版〕取得物件

ABINC 認証〔集合住宅版〕は、企業における生物多様性に配慮した緑地づくりや管理・利用などの取り組みを、

<1>生物多様性に貢献する環境づくり

<2>生物多様性に配慮した維持管理

<3>コミュニケーション活動

<4>その他の取り組み

について、第三者評価・認証するものです。当社では、以下の4物件において、「2017年度 ABINC 認証〔集合住宅版〕」を取得しました。2014年度の ABINC 認証〔集合住宅版〕運用開始から4年連続での認証取得となりました。累計17物件での認証取得は、事業者として最多件数となります。

■2017年度 ABINC 認証取得物件

- ・ザ・パークハウス 和光市
- ・(仮称)福岡市中央区地行浜2丁目計画
- ・神奈川県鎌倉市で計画中の物件
- ・愛知県名古屋市で計画中の物件

<参考>

■2016年度 ABINC 認証取得物件

ザ・パークハウス 国分寺四季の森、ザ・パークハウス あざみ野一丁目、
ザ・パークハウス 津田沼前原ガーデン、ザ・パークハウス オイコス 三国ヶ丘、
hitoto 広島 The Tower

■2015年度 ABINC 認証取得物件

ザ・パークハウス 国分寺緑邸、ザ・パークハウス 東戸塚レジデンス、ザ・パークハウス 宝塚、
蘆花公園 ザ・レジデンス、ザ・ガーデンテラス目黒

■2014年度 ABINC 認証取得物件

ザ・パークハウス 千歳烏山グローリオ、ザ・パークハウス 西新宿タワー60、
ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン

2. 各物件での取り組み事例紹介

今年度 ABINC 認証を取得した物件では、以下のような取り組みが評価され、「2017 年度 ABINC 認証〔集合住宅版〕」を取得しました。一部の物件における具体的な取り組みを事例としてご紹介します。

①ザ・パークハウス 和光市

■地域の生態系に調和した緑地の創出

- ・周辺の自然環境や土地の成り立ちに関する調査を行い、シラカシやヤマツツジなど地域の在来種を中心に植物を採用するとともに、近接する公園との緑の連続性に配慮し、キンモクセイ・ウラジロガシなど公園と共通する樹木を敷地内に配置しました。
- ・建物完成後 3 年間、居住者の方々を対象にした環境教育プログラムを行い、参加された方々が住まいや街の自然に関心を持っていただくきっかけを提供します。

<物件概要>

所在地：埼玉県和光市丸山台 2 丁目 20-1 他（地番）
交通：東武東上線・東京メトロ副都心線・有楽町線「和光市」駅徒歩 8 分
総戸数：158 戸
構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上 8 階建
売主：三菱地所レジデンス株式会社
施工：川口土木建築工業株式会社
竣工：2019 年 11 月中旬予定
引渡：2020 年 1 月中旬予定

②（仮称）福岡市中央区地行浜 2 丁目計画

■商業施設との一体での街づくり

- ・敷地内の植物の選定にあたって、志賀島の樹林など近隣の沿岸部に生育する樹種を確認し、タブノキ・トベラ・クスノキなど地域の在来種で、且つシーサイドエリア特有の潮風にも強い植物を採用することで、居住者の方々や往来する人々に緑に親しみを感じてもらえるよう計画しています。
- ・また、隣接する商業施設「MARK IS 福岡ももち」（2018 年秋開業予定）との一体での緑化空間の創出に取り組んでおり、沿道植栽には商業施設からマンションにかけて連続したタブノキの並木を設けるなど、三菱地所グループとして生物多様性に配慮した街づくりを目指しています。

<物件概要>

所在地：福岡県福岡市中央区地行浜 2 丁目 30-26
交通：福岡市地下鉄空港線「唐人町」駅（3 番出口）より徒歩 12 分
総戸数：292 戸
構造・規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地上 28 階建
売主：三菱地所レジデンス株式会社、積水ハウス株式会社、西日本鉄道株式会社
施工：株式会社竹中工務店
竣工：2019 年 12 月下旬予定
引渡：2020 年 3 月下旬予定

③神奈川県鎌倉市で計画中の物件

■地域になじみのある植物を採用

- ・アジサイ・ササなどの鎌倉になじみのある植物や、モミジなどの近接する地域の植生との連続性に配慮した植物を、敷地沿道や中庭に配置することで、地域の生態系に調和した緑地の創出を図っています。

(参考)

「ザ・パークハウス」の生物多様性保全の取り組み「BIO NET INITIATIVE」について

「BIO NET INITIATIVE (ビオ ネット イニシアチブ)」とは、物件規模や敷地面積に関わらず、全ての「ザ・パークハウス」において、生物多様性の保全に配慮した植栽計画を行う取り組みのことです。当社では、大きく5つのアクションに分けられる行動指針に基づいて、全ての物件で生物多様性の保全に取り組んでいます。

<5つのアクションと具体的な例>

アクション	具体例
① 守ること。	・行政の定める特定外来生物や侵略的外来種など 侵略植物 を採用しない。
② 育てること。	・計画地周辺における地域性植物を確認し、地域にあった植生を育む。 ・日本の 在来種 を植栽の 50%以上 で採用する。
③ つなぐこと。	・地域の美しい並木の樹木や、その地域の在来種を多く採り入れることで、地域を飛来する鳥や蝶などの休息中継地の確保に貢献する。
④ 活かすこと。	・樹木の大きな枝打ち、強い剪定をできるだけ減らし、 樹木の持つ自然な形を活かす 。 ・ 薬剤散布の機会をできるだけ減らす ことで、ミミズやオケラなどへの影響を少なくするとともに、 土壌の生命力を活かす ことで植物の成長を促す。
⑤ 減らすこと。	・低灌木・地被等を密植させたり、ウッドチップ等を土の表面に施し、 土の露出を少なく することで、 雑草の発生を抑制 し、除草管理コストを減らす。

守ること。

侵略的外来種等を採用せず、多様ないきものや植物を守ります。

育てること。

地域に受け継がれてきた植生や日本の在来種を大切にしていきます。

つなぐこと。

周辺緑地等との緑のネットワークを考えます。

活かすこと。

樹木の持つ自然な形の美しさや土壌の持つ生命力を活かします。

減らすこと。

病気や害虫を減らし、剪定・刈込の頻度を減らして焼却ゴミを減らします。



**GOOD
DESIGN**

